

他人ごとだと思っていないですか？ 災害・火災リスクを確認！

自然災害編

これから梅雨、長雨の季節を迎えます。近年の全国的な異常気象に備え、災害の危険性や避難場所、避難情報の取得方法などをチェックし、いざというときに正しい避難行動をとれるようにしましょう。

問 危機管理室(☎228-7605 FAX222-7339)
土砂災害は府鳳土木事務所(☎273-0123 FAX271-9446)か
市河川水路課(☎228-7418 FAX228-7868)



自宅周辺で起こりうる災害を確認



災害はいつ起きるかわかりません。危険箇所を把握しましょう。

市ホームページや区別防災マップで河川の洪水リスクや土砂災害(特別)警戒区域に関する情報などが確認できます。近年、西除川、東除川、石津川の浸水想定が見直され、これまでの想定を上回る浸水想定が公表されました。



避難場所と避難経路を確認



自宅の上階など浸水しない場所に避難する方法もあります。

避難場所を確認し、非常時の持ち出し品を用意しましょう。指定避難所は、防災ポータル(QRコード)や区別防災マップで確認できます。指定避難場所のほか、親族・知人家や宿泊施設など安全な場所への避難も考えておきましょう。

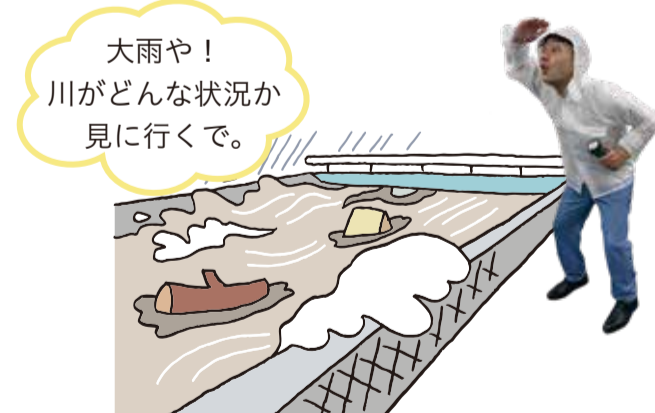


避難情報の内容と取るべき行動を確認



警戒レベル4までに危険な場所から全員避難してください！

避難が必要な災害の恐れがある場合、屋外スピーカーやテレビのデータ放送、ラジオ、メール、インターネットなどで、警戒レベルと避難情報をお知らせします。



情報を正しく取得



川に近づくのはとても危険です！災害時に情報を得る方法を確認・登録しましょう。

市ホームページや屋外スピーカーなどを通じた情報発信を行っています。防災情報メールに登録すると、気象や避難に関する情報をメールで配信されます。



火災編

消防局管内で住宅火災による死者、負傷者が多数発生し、高齢者の方が被害に遭われる火災も増えています。今一度、ご家庭内で火災に注意しましょう。火災が発生したら、すぐに避難し、119番通報をしてください。

住宅火災予防について詳しくはこちら→

問 予防査察課(☎238-6005 FAX228-8161)



コンセントプラグ火災



コンセントやプラグにほこりがたまらないよう掃除しましょう。

ほこりがたまると、電気を通しやすくなり発火する恐れがあります。



コンロ火災



少しの間でも目を離してはいけません。

調理中は離れないようにし、電話や来客で離れる時は、必ず火を消してください。周囲に燃えやすいものを置かないください。IHコンロでも、指定の鍋を使用しないと火災の原因になります。



たばこ火災



たとえ小さな火でも寝具に燃え移って、火災につながります。

火を消したつもりでも完全に消えていないことがあります。火をつけたまま寝てしまうと、布団や衣類に火がつく恐れがあり、大変危険です。



放火



人目のつかない場所に燃えやすい物を置くと、放火されやすくなります。

廃品やごみなどに放火されるケースが多くみられます。家の周りに燃えやすいものを置かず、ごみは指定の収集日に出すなど放火されない環境を作りましょう。

高齢者防火訪問を実施します

高齢の方が安全に安心して暮らせるよう、消防職員が防火訪問を実施します。

◎期間 6月～来年3月
◎対象 75歳以上の高齢の方のみの世帯

問 予防査察課(☎238-6005 FAX228-8161)

堺市総合防災センター

楽しく学び、災害にしっかり備える、堺市初の体験型防災学習施設です。

◎時間 9～17時15分
◎休館日 月曜日(祝休日の場合翌日)、第3火曜日 ※臨時休館あり
◎入館料 無料(体験コースは予約優先、1人から参加可)
問 総合防災センター(☎363-2225 FAX363-2228)



区別防災マップで確認しよう

区別防災マップでは、想定される被害や影響範囲、とるべき行動や避難場所などをお知らせしています。市ホームページからご覧になれるほか、市(区)役所市政情報センター(コーナー)などで配布しています。

